

現場からの発信 「団塊の世代を考える」セミナー

60歳からの出発<た・び・だ・ち>

～10年後を視野に入れて～

70歳を元気に生きる

平成19年3月18日(日)
13:30~16:30

- 今年から始まる団塊シニアの登場。
- 全国では780万人ともいわれています。
- 今回のセミナーは、10年後を視野に入れて…70歳を元気に生きるために、今をどう考えるか・どう生きるか、を団塊の世代を含め幅広い年齢層のみなさんで考えてみましょう！という「集いの場」づくりです。
- たくさんの方々のご参加を！

■第一部 セミナー① 13:30~15:10 《団塊の世代を考える》～事例報告～

○神谷 修さん

⇒「今まで育んできた理念の実現を目指し」、60歳から新しく会社を起業した人

○石倉多計子さん

⇒家庭福祉員になり、子どもたちや地域からエネルギーをいただいている人

○元川嘉宏さん

⇒平成18年12月に退職し、これから旅だちをしようとしている団塊世代の人

○望月泰宏さん

⇒60歳からNPO法人を立ち上げ、NPO活動を実践している人

■第二部 セミナー② 15:30~16:30 《事例報告者と参加者の楽しい話し合い》

○コーディネーター

望月泰宏さん(NPO法人 コ・ラ・ボ埼玉代表)

□NPO・団体ブース展示 15:30~16:30 《団塊世代に興味のある団体の展示》

- ◆定 員 100人
- ◆参加費 無 料
- ◆会 場 さいたま市立生涯学習総合センター・10F多目的ホール
- ◆申込み 3／5(月)の9時から、直接または電話で、生涯学習総合センターへ（先着順）
- ◆問合せ さいたま市立生涯学習総合センター事業担当
さいたま市大宮区桜木町1-10-18 シーノ大宮センタープラザ
- ◆電 話 048-643-5651

主 催 / 特定非営利活動法人コ・ラ・ボ埼玉・さいたま市立生涯学習総合センター

趣 旨

2007年問題が騒がれてから相当の年月が経過し、いよいよその2007年が目の前にやってきました。1947年から1949年までの3年間に生まれた人たちが現在、約680万人います。また、1950年、1951年生まれを含めると現在、約1,090万人もいます。全人口の約9%になります。その人たちが2007年から5年の間に60歳を迎えることになるのです。会社に勤めている方、公務員の方はほとんどが退職し、新しい世界に生きることになるわけです。

団塊の世代の「定年」は色々な意味で多くの社会的問題を生じる要因になることは確かです。

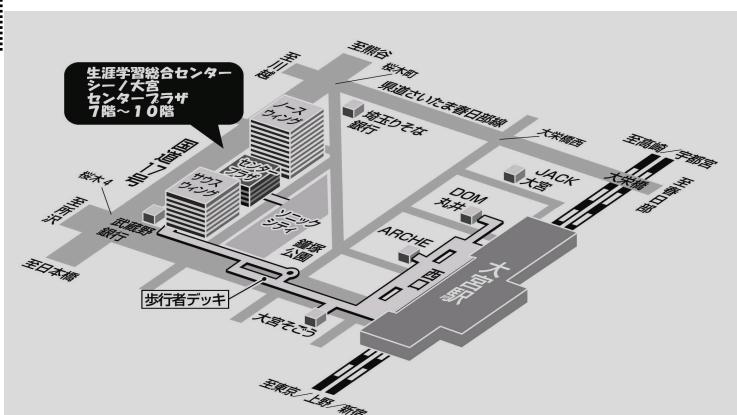
- ① 年金問題
- ② 医療負担問題
- ③ 人手不足・現場における技術の低下
- ④ 産業界における生産力の低下 など

また、団塊の世代の当事者が60歳を境に直面せざるを得ない問題は百人百様で、ひとくくりにはできない個々の状況下で生じる課題をはらんでいます。しかし、当事者たちが抱える課題をひとくくりにできないにせよ、それぞれが元気でいる以上は70歳を迎え、80歳を迎えること、同時に体力が衰え、考える力も衰えていくことは確実です。

さらに、行政にとっても、この世代を上手く地域社会に受け入れられるかどうかが、行政課題の一つとなっており、地域間競争に勝ち残るためにもこれらの世代の活力を積極的に活用して、地域経営を行っていくことが必要となっています。

さて、今回私たちが企画する「団塊の世代を考える」は、10年後を視野に入れて…70歳を元気に生きるために、今をどう考えるか、どう生きるか、を団塊の世代を含め幅広い年齢層の皆で考えてみよう！という内容の「集いの場」づくりです。

主 催
NPO法人 コ・ラ・ボ埼玉
さいたま市立生涯学習総合センター



○さいたま市立生涯学習総合センター

〒330-0854

さいたま市大宮区桜木町1-10-18

TEL. 048-643-5651

FAX. 048-648-1860

アクセス: JR大宮駅西口徒歩5分